

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 29 年 10 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果						
原水調整設備	調整槽 調整槽ポンプ	浮遊物除去	6 年 -	高度処理設備	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月 ○						
		本体付着物除去	年 -			空洗タイマー設定値(分)	月 ○						
		潤滑油交換	年 -			逆洗タイマー設定値(分)	月 ○						
		外観	年 -			空気弁動作確認	月 ○						
		プロペラ確認	年 -			No.1 活性炭 吸着塔	洗浄工程確認	月 ○					
		キャブタイヤケーブル絶縁	年 -				逆洗タイマー設定値(分)	月 ○					
	原水槽	No.1原水 ポンプ	浮遊物除去	月 ○	No.2 活性炭 吸着塔	洗浄工程確認	月 ○						
			フロートスイッチ動作	年 -		空洗タイマー設定値(分)	月 ○						
			本体付着物除去	月 ○		空気弁動作確認	月 ○						
			潤滑油交換	年 -		洗浄工程確認	月 ○						
No.2原水 ポンプ	No.2原水 ポンプ	外観	年 -	ゼオライト 原水槽	ゼオライト原水 ポンプ	本体付着物除去	年 -						
		プロペラ確認	年 -			潤滑油交換	年 -						
		キャブタイヤケーブル絶縁	年 -			外観	年 -						
		本体付着物除去	年 -			プロペラ確認	年 -						
揚水 計量槽	揚水 計量槽	汚泥等の堆積	月 ○	放流槽	消毒槽	浮遊物除去	6 年 -						
		槽内清掃	月 ○			浮遊物除去	6 年 -						
第一PH 調整槽	攪拌機	回転部スケール除去	年 -			No.1処理水 移送ポンプ	No.1処理水 移送ポンプ	フリクトスイッチ動作確認	6 年 -				
		プロペラ確認	年 -					本体付着物除去	年 -				
第一 沈殿池	掻寄機	トラフの損傷、越流状況	月 ○					No.2処理水 移送ポンプ	No.2処理水 移送ポンプ	潤滑油交換	年 -		
		浮遊物の除去	月 ○							外観	年 -		
第一汚泥 ビット	返送汚泥 余剰汚泥 ポンプ	グリス補充	6 年 -							No.1放流水 移送ポンプ	No.1放流水 移送ポンプ	プロペラ確認	年 -
		本体付着物除去	年 -									キャブタイヤケーブル絶縁	年 -
		潤滑油交換	年 -			本体付着物除去	年 -						
		外観	年 -			潤滑油交換	年 -						
生物処理	硝化槽	プロペラ確認	年 -	1-2放流水 移送ポンプ	1-2放流水 移送ポンプ	プロペラ確認	年 -						
		キャブタイヤケーブル絶縁	年 -			外観	年 -						
		1槽	散気状態			月 ○	2-1放流水 移送ポンプ	2-1放流水 移送ポンプ	本体付着物除去	年 -			
		2槽	散気状態			月 ○			2-2放流水 移送ポンプ	2-2放流水 移送ポンプ	潤滑油交換	年 -	
		3槽	散気状態			月 ○					3-1放流水 移送ポンプ	3-1放流水 移送ポンプ	外観
		4槽	散気状態			月 ○			3-2放流水 移送ポンプ	3-2放流水 移送ポンプ			プロペラ確認
5槽	散気状態	月 ○	4-1放流水 移送ポンプ	4-1放流水 移送ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年 -							
6槽	散気状態	月 ○			4-2放流水 移送ポンプ	4-2放流水 移送ポンプ	本体付着物除去	年 -					
脱窒素槽	脱窒素槽	1槽	水中攪拌機攪拌状況	月 ○			3-1放流水 移送ポンプ	3-1放流水 移送ポンプ	潤滑油交換	年 -			
		2槽	水中攪拌機攪拌状況	月 ○	3-2放流水 移送ポンプ	3-2放流水 移送ポンプ			外観	年 -			
		3槽	水中攪拌機攪拌状況	月 ○			4-1放流水 移送ポンプ	4-1放流水 移送ポンプ	プロペラ確認	年 -			
再曝気槽	再曝気槽	2槽	水中攪拌機攪拌状況	月 ○	4-2放流水 移送ポンプ	4-2放流水 移送ポンプ			キャブタイヤケーブル絶縁	年 -			
		3槽	水中攪拌機攪拌状況	月 ○			処理水 貯留槽	処理水 貯留槽	本体付着物除去	年 -			
		再曝気槽	再曝気槽	3槽	水中攪拌機攪拌状況	月 ○			3-1放流水 移送ポンプ	3-1放流水 移送ポンプ	潤滑油交換	年 -	
				散気状態	月 ○	3-2放流水 移送ポンプ	3-2放流水 移送ポンプ	外観			年 -		
凝集沈殿	凝集沈殿			本体付着物除去	年 -			3-2放流水 移送ポンプ	3-2放流水 移送ポンプ	プロペラ確認	年 -		
				潤滑油交換	年 -	4-1放流水 移送ポンプ	4-1放流水 移送ポンプ			キャブタイヤケーブル絶縁	年 -		
		第二PH 調整槽	攪拌機	外観	年 -			4-2放流水 移送ポンプ	4-2放流水 移送ポンプ	本体付着物除去	年 -		
				プロペラ確認	年 -	処理水 貯留槽	処理水 貯留槽			潤滑油交換	年 -		
脱気槽	脱気槽	電磁弁動作確認	月 ○	3-1放流水 移送ポンプ	3-1放流水 移送ポンプ			外観	年 -				
		電磁弁動作確認	月 ○			3-2放流水 移送ポンプ	3-2放流水 移送ポンプ	プロペラ確認	年 -				
混和槽	攪拌機	回転部スケール除去	年 -	3-2放流水 移送ポンプ	3-2放流水 移送ポンプ			キャブタイヤケーブル絶縁	年 -				
		プロペラ確認	年 -			4-1放流水 移送ポンプ	4-1放流水 移送ポンプ	本体付着物除去	年 -				
凝集槽	No.1 攪拌機	回転部スケール除去	年 -	4-2放流水 移送ポンプ	4-2放流水 移送ポンプ			潤滑油交換	年 -				
		プロペラ確認	年 -			高度処理設備	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	外観	年 -			
No.2 攪拌機	No.2 攪拌機	回転部スケール除去	年 -	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ				潤滑油交換	年 -			
		プロペラ確認	年 -			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	外観	年 -				
第二 沈殿槽	掻寄機	トラフの損傷、越流状況	月 ○	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ			プロペラ確認	年 -				
		浮遊物の除去	月 ○			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年 -				
中和槽	攪拌機	グリス補充	6 年 -	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ			本体付着物除去	年 -				
		回転部スケール除去	年 -			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	潤滑油交換	年 -				
高度処理設備	ろ過 原水槽	プロペラ確認	年 -	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ			外観	年 -				
		浮遊物除去	6 年 -			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	プロペラ確認	年 -				
ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	フリクトレベルスイッチ動作	6 年 -	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ			キャブタイヤケーブル絶縁	年 -				
		本体付着物除去	年 -			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	外観	年 -				
ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	潤滑油交換	年 -	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ			プロペラ確認	年 -				
		外観	年 -			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年 -				
ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	プロペラ確認	年 -	ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ			外観	年 -				
		キャブタイヤケーブル絶縁	年 -			ろ過 原水槽	ろ過原水 ポンプ	プロペラ確認	年 -				

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

備考

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 29 年 10 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名	点検項目		周期	点検結果
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○
		凝集助剤A	ストレーナー清掃	月	○			潤滑油交換	6	—
			タンク内部確認	年	—			吸引ろ過器詰め物交換	年	—
		凝集助剤B	ストレーナー清掃	月	○			タンクの清掃点検	年	—
	タンク内部確認		年	—	第二汚泥ピット	排泥ポンプ	本体付着物除去	6	—	
	メタノール	潤滑油交換	6	○			潤滑油交換	年	—	
	No.1 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○			外観	年	—	
	No.2 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○*			プロペラ確認	年	—	
	No.3 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
	No.4 苛性ソーダ	潤滑油交換	6	○		浮遊物除去	6	—		
	塩化第二鉄	潤滑油交換	6	○		汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	本体付着物除去	6	—
	硫酸	潤滑油交換	6	○*				潤滑油交換	年	—
	凝集助剤	潤滑油交換	6	○				外観	年	—
	薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月				○	プロペラ確認	年
		塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
		りん酸	実量測定(ml/分)	月	○			散気管確認	6	—
凝集助剤		実量測定(ml/分)	月	○	フリクトレベルスイッチ動作	6	—			
ブロウ設備	ブロウ	No.1 曝気ブロウ	温度	3	—	床排水	床排水ポンプ	浮遊物除去	6	—
			安全弁動作	3	—			本体付着物除去	6	—
			各接合部締付	3	—			潤滑油交換	年	—
			Vベルト張り状態	3	—			外観	年	—
			ベアリンググリス交換	6	—			プロペラ確認	年	—
			ギヤオイル交換	6	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
			Vベルト交換	年	—			浮遊物除去	6	—
			圧力計交換	年	—			本体付着物除去	6	—
			吸込フィルタ清掃	年	—			潤滑油交換	年	—
			吸込フィルタ清掃	年	—			外観	年	—
	No.2 曝気ブロウ	温度	3	—	雑排水槽	雑排水ポンプ	プロペラ確認	年	—	
		安全弁動作	3	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		各接合部締付	3	—			浮遊物除去	6	—	
		Vベルト張り状態	3	—			本体付着物除去	6	—	
		ベアリンググリス交換	6	—			潤滑油交換	年	—	
		ギヤオイル交換	6	—			外観	年	—	
		Vベルト交換	年	—			プロペラ確認	年	—	
		圧力計交換	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		吸込フィルタ清掃	年	—			浮遊物除去	6	—	
		吸込フィルタ清掃	年	—			本体付着物除去	6	—	
	No.3 曝気ブロウ	温度	3	—	第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	潤滑油交換	年	—	
		安全弁動作	3	—			外観	年	—	
		各接合部締付	3	—			プロペラ確認	年	—	
		Vベルト張り状態	3	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		ベアリンググリス交換	6	—			浮遊物除去	6	—	
		ギヤオイル交換	6	—			本体付着物除去	6	—	
		Vベルト交換	年	—			潤滑油交換	年	—	
		圧力計交換	年	—			外観	年	—	
		吸込フィルタ清掃	年	—			プロペラ確認	年	—	
		吸込フィルタ清掃	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
	原水槽攪拌ブロウ	温度	3	—	P H計	PH計	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05	
		安全弁動作	3	—			KCL確認、補充	月	○	
		各接合部締付	3	—			電極の清掃及び校正	月	○	
		Vベルト張り状態	3	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25	
		ベアリンググリス交換	6	—			KCL確認、補充	月	○	
		ギヤオイル交換	6	—			電極の清掃及び校正	月	○	
		Vベルト交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55	
		圧力計交換	年	—			KCL確認、補充	月	○	
		吸込フィルタ清掃	年	—			電極の清掃及び校正	月	○	
		吸込フィルタ清掃	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45	
汚泥貯留槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3	—	P H計	PH計	KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト張り状態	3	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	ギヤオイル交換	3	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85		
	ベアリンググリス交換	6	—			KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト交換	年	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	フィルタエレメント交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05		
	安全弁動作	3	—			KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト張り状態	3	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	ギヤオイル交換	3	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55		
	ベアリンググリス交換	6	—			KCL確認、補充	月	○		
Vベルト交換	年	—	電極の清掃及び校正	月	○					
フィルタエレメント交換	年	—	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45					
空洗ブロウ	安全弁動作	3	—	P H計	PH計	KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト張り状態	3	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	ベアリンググリス交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85		
	ギヤオイル交換	年	—			KCL確認、補充	月	○		
	Vベルト交換	年	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	フィルタエレメント交換	年	—			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05		

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

* の苛性No.2と硫酸のポンプについては、8月にポンプを新品に交換しているので潤滑油の交換はしていません。

電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 29 年 10 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロワ	1	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2曝気ブロワ	2	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3曝気ブロワ	3	電流値(A) : 170A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
原水槽 攪拌ブロワ	4	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6	0.06		0.05	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6	0.85	0.84	0.92	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6	0.88	0.86	0.92	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6	0.88	0.86	0.93	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6	0.85	0.86	0.90	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6	0.91	0.88	0.93	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6	0.87	0.84	0.86	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6	0.87	0.84	0.89	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 2.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注)測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR、S、T 絶縁抵抗値はR-E、S-E、T-Eとします。

曝気ブロワの絶縁抵抗値について上段は、U-E、V-E、W-Eで、下段は、X-E、Y-E、Z-Eとします。

判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については3φは0.2MΩ以上とし1φは0.1MΩ以上とします。

電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 29 年 10 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6	0.85	0.86	0.89	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 搔寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロワ	46	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
汚泥貯留槽 攪拌ブロワ	47	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6				
		電流値(A) : 3.5A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-1放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-2放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-1放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-2放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-1放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-2放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-1放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-2放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします

備考

- ・りん酸注入ポンプは単相の為、電流値はR及びT相となります。また、電磁ポンプの為、電流値は電動機より小さくなります。
- ・メタノール注入ポンプは仮設の為、測定は実施しておりません。